

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	保健
科目基礎情報						
科目番号	0116		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	材料システム工学科(2017年度以降入学生、但し、令和4年度は材料工学科を含む)		対象学年	1		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	最新高等保健体育 大修館書店					
担当教員	赤塚 康介					
到達目標						
1. 健康について考え、行動できる態度を身につける 2. 生涯にわたり有意義な人生を送ることができる基礎を築く 3. スポーツ理論と実際のスポーツ実践を組み合わせながら、運動への興味を高める						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	しっかりと健康について考え行動できる		ある程度健康について考え行動できる		健康について考えることができない	
評価項目2	生涯にわたり有意義な人生を送ることができる基礎をしっかりと築くことができる		生涯にわたり有意義な人生を送ることができる基礎をある程度築くことができる		生涯にわたり有意義な人生を送ることができる基礎を築くことができない	
評価項目3	しっかりとスポーツ理論と実際のスポーツ実践を組み合わせながら運動への興味を高める		ある程度スポーツ理論と実際のスポーツ実践を組み合わせながら運動への興味を高める		スポーツ理論と実際のスポーツ実践を組み合わせながら運動への興味を高めることができない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	医学の進歩や生活環境の改善により、日本は国際的な長寿国となった。しかし、生活条件の複雑化、価値観の多様化など我々は実生活上様々な問題を抱えている。そこで、本講義では有意義な生活を営むための基礎的な知識を健康・体力及び精神衛生のあり方から学び、それらの問題を解決する能力と態度を育成することをその目的とする。					
授業の進め方・方法	講義及び関連ビデオの視聴 各々のテーマによるプレゼンテーション					
注意点	(1) 点数配分：各々のテーマに関するプレゼンテーション20%、授業に取り組む態度20%、期末試験60% (2) 評価基準：60点以上を合格とする (3) 再試：再試を行う					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	健康の考え方		健康について考えることができる	
		2週	生活習慣病		生活習慣病について考えることができる	
		3週	運動と健康		運動と健康について考えることができる	
		4週	休養と健康		休養と健康について考えることができる	
		5週	喫煙と健康		喫煙と健康について考えることができる	
		6週	飲酒と健康		飲酒と健康について考えることができる	
		7週	薬物乱用と健康		薬物乱用と健康について考えることができる	
		8週	感染症の予防		感染症の予防について考えることができる	
	4thQ	9週	交通事故		交通事故について考えることができる	
		10週	怪我と応急手当		怪我と応急手当について考えることができる	
		11週	心肺蘇生法		心肺蘇生法について考えることができる	
		12週	思春期と性		思春期と性について考えることができる	
		13週	避妊		避妊について考えることができる	
		14週	スポーツトレーニングの基礎概念		スポーツトレーニングの基礎概念について考えることができる	
		15週	スポーツトレーニングの実際		スポーツトレーニングの実際について考えることができる	
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	日常生活の時間管理、健康管理、金銭管理などができる。常に良い状態を維持するための努力を怠らない。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後12,後13,後14,後15
				ストレスやプレッシャーに対し、自分自身をよく知り、解決を試みる行動をとることができる。日常生活の管理ができるとともに、目標達成のために対処することができる。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後12,後13,後14
				学生であっても社会全体を構成している一員としての意識を持って、行動することができる。	2	後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11

				市民として社会の一員であることを理解し、社会に大きなマイナス影響を及ぼす行為を戒める。人間性・教養、モラルなど、社会的・地球的観点から物事を考えることができる。	2	後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11
--	--	--	--	--	---	------------------------

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	0	20	0	0	100
基礎的能力	60	20	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0